

令和6年度 上川総合振興局北部森林室立木販売重点目標

上川北部 森林室

1 資源や技術力を活用した地域貢献

・道有林上川北部管理区の立木販売を通じ、森林認証所得の促進や認証製品の利用促進及び販路拡大を図るため、CoC認証所得事業者限定の一般競争入札の実施により森林認証材の普及促進を模索する。
 ・伐採から造林、保育までの森林整備の循環的なサイクルを円滑に進め、製材工場等の需要ニーズに応じた素材生産を行う林業事業者の育成を図る（伐採・造林一体型森林整備事業）。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給

・利用価値の低い木材を木質バイオマスエネルギー用の燃料材として活用を図るため当森林室が発注する森林土木工事等で発生する林地未利用材の発生情報ホームページで公表するとともにオープンカウンター方式なども活用しながら販売を行い、木質バイオマス原料の安定供給利用の促進に努める。

3 販売目標量

（販売目標量について、上記取組に基づき記載する）

（記載例）

（1）総販売量

46,100 m³

○一般競争入札

22,300 m³

○うち「CoC」限定入札（森林認証取得地域の場合）

7,900 m³

○協定販売

m³（うち新規 m³）

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
m ³	m ³	m ³	m ³

○長期安定供給販売

m³（うち新規 m³）

○伐採・造林複合協定型森林整備事業

10,300 m³（うち新規 m³）

○その他販売

13,500 m³

（2）オープンカウンター販売

1件

（注）販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。